

こぱんはうすさくら 児童発達支援 ガイドラインアンケート実施結果を公表します

こぱんはうすさくらでは、より良いサービスを提供するため、「児童発達支援ガイドライン」をもとに保護者様のご意見やお子様の成長状況を把握し、教室での今後の取り組みを明確にしていくことで、支援の質の向上とお子様の成長につなげてまいります。

◆ 東久留米教室 ◆

★保護者様からのご意見

項目	いただきましたご意見
環境・体制整備	子どもが楽しい、もっとやってみたいと思う工夫がなされていると感じます。
適切な支援の提供	個人的な要望にも対応してくれ、息子の成長につながっていると思います。
保護者様への説明等	家庭でショックな出来事があった時のコメントして下さった内容にとても助けられました。
非常時等の対応	きっとマニュアルはあるんだろうと思います。私がよく知らないだけかも…。
満足度	保育園より楽しい！とこぱんさんに行くことを心待ちにしております。こぱんさんが大好きな息子です。

★教室での自己評価

項目	改善策及び取り組み状況
環境・体制整備	部屋に何も置かない空間は療育に適しているため、今後も継続していく。物を置く棚を検討したが、棚だと落下の危険があるため、安全を考慮して柱などにぶら下げて落下の危険がないように改善できた。E22:E27
業務改善	月案を立て、予定を全体に周知していく。毎日の細かい振返りはもちろん、毎月、月案に対しての振返りも行っていくことで、全体でPDCAを意識して情報共有をしていく。
適切な支援の提供	個々の特性や課題を全体で情報共有し、個別支援の詳細の資料を作成していく。資料を共有することで、職員全員で適切な支援にあたっていく。
関係機関や保護者との連携	地域の児童発達支援施設との連携会議に出席している。会議に参加したばかりなので、連携の実現は今後の課題である。隣の市の施設とは連携しており、施設で受け入れが難しい、課題についての共有はできている。
保護者様への説明責任等	Hugを利用した保護者との連絡は密にとれている。毎日の活動記録での報告も行っており、保護者からの反応やそれに対する要望も含めて職員間での共有はできている。今後は保護者会なども検討していく。
非常時等の対応	災害時対応のマニュアルはあるが、保護者への周知が薄いため、今後はマニュアルの周知や避難訓練実施の報告をこまめにしていく。虐待やアレルギー対応についての研修は今後も毎年実施していく。